

日本毒性病理学会
毒性病理学専門家認定試験要項
(2018年度・第25回)

日本毒性病理学会
Japanese Society of Toxicologic Pathology (JSTP)

申請用紙への記入ならびに申請の方法について

1. 申請者は申請にあたり、日本毒性病理学会ホームページに掲載されている専門家認定制度のうち「専門家認定制度に関する規定」をご参照下さい。
2. 申請者は、書面審査にあたり、上記「専門家認定制度に関する規定」の「3.認定試験- (3)」に記載されている以下の基準全てを満たしている必要があります。
 - ア 出願時にJSTP会員であり、継続または通算して5年間以上の会員歴があること。
【2018年度（第24回）試験を受験する場合】：
2013年4月30日までにご入会の方が対象です。
入会日をご不明な場合には、学会事務局へお問い合わせ下さい。
 - イ 別表の評点基準による合計点が80点以上であること。
 - ウ 学会活動、研修会参加、論文発表などを行っていること。
 - エ 日本毒性病理学会機関誌Journal of Toxicologic Pathologyに少なくとも1編が掲載されていること：共著可。
3. 申請者は受験資格評点の内訳表に従い、自己評点を行い自己評点用紙に記入して下さい。
4. 自己評点を証明するために必要な資料を用意し（詳細は別紙「受験申請 添付資料一覧」を参照）、付箋等を用いて通し番号を付けて下さい。
5. 受験申請用紙、受験資格自己評点用紙、添付資料（添付資料一覧表、発表論文、学会発表の一覧と主なもの[10編以内]の別刷りまたはコピー）、履歴書（同封のサンプル参照のこと、研究履歴を含む）を1セットとして、JSTP事務局（下記住所）宛に申請して下さい。
6. 受験資格は取得年を含め3年間有効とし、取得後2年間は「受験資格自己評点用紙」および「受験申請添付資料」の提出が免除されますので、該当者は「受験申請用紙」「履歴書」のみをご提出下さい。

締め切り 4月30日（日）【必着】

- ・ 受験申請受理後、資格認定委員会にて資格審査後、受験票を送付致します。
- ・ 受験料¥30,000は受験票を受け取った後に下記宛にお振り込み下さい。未納の場合は受験できない場合がありますのでご注意下さい。
- ・ 試験の結果につきましては後日受験者に連絡致します。お預かりした資料は返却致しません。
- ・ 認定試験に合格した場合は、改めて認定料¥20,000を下記宛にお振り込み下さい。振り込みを確認後、認定証を送付致します。
- ・ 資格の更新は5年毎に行われる予定です。細則は別途定められています。
- ・ 申請および受験に際し、不正が認められた場合、あるいはJSTP認定毒性病理学専門家に適格でない事由が生じた場合、認定後でもこれを取り消すことがありますのでご留意下さい。

《受験料ならびに認定料の振込先》

■ 郵便振替：00190-6-664865

■ ゆうちょ銀行：金融機関コード 9900 店番 019, 店名 019（ゼロイチキュウ）

当座 口座番号0664865

口座名義：日本毒性病理学会

■受験申請書類の提出先

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内

日本毒性病理学会事務局

(TEL) : 03-5937-0317

日本毒性病理学会認定毒性病理学専門家

— 認定試験受験申請用紙 —

(フリガナ) 申請者氏名	
生年月日	西暦 年 月 日
所属機関名 住所 電話番号	〒 TEL: FAX:
自宅住所 電話番号	〒 TEL: FAX:
連絡先	所属機関 ・ 自宅 (いずれかに○印)
連絡先E-mail	
受験言語	日本語 英語 (希望する言語を○で囲んでください)

整理番号 _____

*事務局使用欄 (申請者は記入しないで下さい)

申請会員—会員番号・氏名	
入会日	年 月 日
年会費納入状況	完納 ・ 未納あり(円)
申請受付年月日	
受験番号	
結 果	可 ・ 否

履歴書（サンプル）※必要に応じて行を追加しご使用下さい。

氏名		(旧姓)
生年月日	年 月 日	年齢 歳
現住所	〒	
	TEL	FAX
勤務先		
	〒	
	TEL	FAX

学歴

年 4月	大学	学部	学科	入学
年 3月	大学	学部	学科	卒業
年 4月	大学	学部	修士課程	入学
年 3月	大学	学部	修士課程	卒業

職歴

年 月	
年 月	
	現在に至る

研究歴

年 月	
年 月	
	現在に至る

資格

加入学会

日本毒性病理学会	(年 ~ 現在に至る)

上記の通り相違ありません。

年 月 日

氏名 _____ 印

受験申請資料一覧

氏名 _____

論文発表

[JSTP、STP 及び ESTP 誌掲載]

筆頭発表

1. (タイトル)、J.Toxicol. Pathol., Vol., No. Page, Year

共著発表

1. (タイトル)、J.Toxicol. Pathol., Vol., No. Page, Year

[他誌掲載]

筆頭発表

1. (タイトル)、(掲載誌)、Vol., No. Page, 西暦

共著発表

1. (タイトル)、(掲載誌)、Vol., No. Page, 西暦

学会活動

[JSTP、STP、ESTP、JSTP/IFSTP(IATP)2004 学会参加]

第○回日本毒性病理学会

第□回日本毒性病理学会

[JSTP、STP、ESTP 及び JSTP/IFSTP(IATP)2004 学会発表]

筆頭発表

1. タイトル、(学会名、大会名、開催年度)
2. タイトル、(学会名、大会名、開催年度)
3. タイトル、(学会名、大会名、開催年度) . . .

共同発表

1. タイトル、(学会名、大会名、開催年度)
2. タイトル、(学会名、大会名、開催年度) . . .

研修会への参加

1. 研修会名称、(開催年度)
2. 研修会名称、(開催年度)

受験資格評点の内訳および受験申請添付資料一覧

種 別	評 点 項 目	参 加	発 表	資 料
論文発表	JTP, TP 及び ETP 誌掲載	/	10 (3) ^{注1}	別刷または写し
	他誌への毒性病理学関連論文		5 (2) ^{注1}	
学会活動	JSTP/IFSTP(IATP)2004 参加	10	/	学会参加証の写し ^{注2} , 講演要旨集の当該部 分の写し ^{注3}
	JSTP, STP 及び ESTP 学会参加	5		
	JSTP, STP, ESTP 及び JSTP/IFSTP(IATP)2004 学会発表			
研修会	JSTP スライドカンファレンス, JSTP 教育セミナー, JSTP ミクロ問題解説-詳細版-及び ILSI スライドセ ミナーへの参加	5	/	参加証明書 ^{注4} , CERTIFICATION ^{注4}
	実験動物病理標本交見会, IATP 教育セミナー, IATP シンポジウム (2004) 及び NTP サテライトシンポ ジウム (2013) への参加	3		認定証 ^{注4} , 受講証明書 ^{注4} 等
	日本獣医病理学会 (現日本獣医病理学専門家協会) 獣医病理研修会への参加	3		
	日本獣医病理学会 (現日本獣医病理学専門家協会) スライドセミナーへの参加	2		

ESTP : European Society of Toxicologic Pathology; JTP : Journal of Toxicologic Pathology; TP : Toxicologic Pathology; ETP : Experimental and Toxicologic Pathology

注 1 : 発表における括弧内数字は筆頭者でない共著者/共同発表者の点数を示す。

注 2 : 参加証は, 必ず氏名の部分もコピーして下さい。

注 3 : 講演要旨集の写しは, 発表年度が分かるようにして下さい。

注 4 : コピー (写し) でも可。第 1 回~第 3 回ミクロ問題解説-詳細版-については, 参加証明書はありませんので, 参加した旨を記載した文書を提出してください (様式は問いません)。事務局で確認致します。

※日本語もしくは英語以外で書かれた論文の別刷を資料として添付する場合は, 日本語もしくは英語の title, summary を併記すること。

※JSTP 参加証明書自体には氏名の記入箇所がございませんので, ネームカードの部分もあわせてご提出下さい。(本人が参加したことを確認するために必要となります)

※受験には年会費の完納が条件となりますので, お早めにご納入下さい。

日本毒性病理学会認定毒性病理学専門家
— 受験資格点自己評価用紙 —

種別	評点項目	件数	添付 資料 番号	自己申告点		資格認定委員会 判定	
				申告点	小計		
論文発表	JTP, TP及びETP掲載 (筆頭:10点/件, 共著:3点/件)	筆: 件					
		共: 件					
	他誌への毒性病理学関連論文 (筆頭:5点/件, 共著:2点/件)	筆: 件					
		共: 件					
学会活動	JSTP/IFSTP(IATP)2004参加(10点/件)	件					
	JSTP, STP及びESTP学会参加(5点/件)	件					
	JSTP, STP, ESTP及び JSTP/IFSTP(IATP)2004学会発表	筆: 件					
	(筆頭:10点/件, 共同:3点/件)	共: 件					
研修会	JSTPスライドカンファランス, JSTP教育 セミナー, ミクロ問題解説-詳細版-, 及び ILSIセミナーへの参加 (5点/件)	件					
	実験動物病理標本交見会, IATP教育 セミナー, IATPシンポジウム(2004)及び NTPサテライトシンポジウム(2013)への 参加 (3点/件)	件					
	日本獣医病理学会(現日本獣医病理学 専門家協会)獣医病理研修会への参加 (3点/件)	件					
	日本獣医病理学会(現日本獣医病理学 専門家協会)スライドセミナーへの参加 (2点/件)	件					
合 計							